

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第18期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社ジェイテック
【英訳名】	JTEC CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤本 幸之助
【本店の所在の場所】	東京都中央区京橋一丁目10番7号 KPP八重洲ビル
【電話番号】	03 - 6228 - 7273
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 佐野 清一郎
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区京橋一丁目10番7号 KPP八重洲ビル
【電話番号】	03 - 6228 - 7273
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 佐野 清一郎
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第17期 第2四半期連結 累計期間	第18期 第2四半期連結 累計期間	第17期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	1,091,481	1,671,308	2,690,358
経常利益(千円)	12,503	35,803	66,252
四半期(当期)純利益(千円)	8,122	22,813	47,533
四半期包括利益又は包括利益(千円)	8,018	26,114	51,055
純資産額(千円)	453,976	523,373	505,605
総資産額(千円)	853,932	1,087,476	1,087,495
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	0.97	2.73	5.69
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	0.96	2.63	5.59
自己資本比率(%)	53.1	46.9	45.5
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	8,920	1,282	54,906
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	15,735	4,382	89,912
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	24,407	12,718	36,893
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	393,733	514,498	532,881

回次	第17期 第2四半期連結 会計期間	第18期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	1.53	4.51

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 平成25年4月1日をもって普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。第17期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安の進展による輸出の持ち直しや、政府による各種政策の効果の発現などを背景として企業収益や個人消費動向に改善がみられております。しかしながら欧州政府債務問題の継続、新興国経済の成長鈍化などの世界経済の減速懸念もあり、先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような状況のなか、当社グループの主力事業である技術職知財リース事業の主要取引先である大手製造業では技術開発投資を継続しており、技術開発や製品設計に対応可能な高いスキルをもつ技術者や、早期戦力化が見込める新卒テクノロジストへの需要は底堅く推移しております。そのため新卒テクノロジストについても研修終了後、順次派遣先での就業を開始していることから、当社グループの稼働率は引き続き高い水準を維持しております。

また、平成24年10月1日付で株式会社エル・ジェイ・エンジニアリングを連結子会社化したことにより、従来の機械・電気電子・ソフトウェア分野に加えて、新たに建築分野でのサービス提供を開始しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,671百万円（前年同期比53.1%増）、営業利益35百万円（前年同期比218.8%増）、経常利益35百万円（前年同期比186.4%増）、四半期純利益22百万円（前年同期比180.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 技術職知財リース事業

株式会社エル・ジェイ・エンジニアリングの連結子会社化により新たに建築分野の取引が加わったこと、及び自動車関連等の顧客企業からの取引が前年同期より増加した結果、技術職知財リース事業の売上高は1,616百万円（前年同期比51.6%増）、セグメント利益は181百万円（前年同期比14.0%増）となりました。

#### 一般派遣及びエンジニア派遣事業

情報処理関連の顧客企業からの取引が前年同期より増加した結果、売上高は54百万円（前年同期比118.3%増）、セグメント利益は9百万円（前年同期比171.4%増）となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ18百万円減少（前年同期は31百万円の減少）し、514百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は1百万円（前年同期は8百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益35百万円、退職給付引当金の増加額11百万円、未払金の増加額6百万円、賞与引当金の増加額5百万円等による資金の増加があったものの、未払費用の減少額30百万円、売上債権の増加額18百万円、法人税等の支払額16百万円等により資金が減少したことによるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は4百万円（前年同期は15百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出2百万円、無形固定資産の取得による支出2百万円等により資金が減少したことによるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は12百万円（前年同期は24百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払額8百万円、短期借入金の減少額4百万円等により資金が減少したことによるものであります。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,800,000
計	28,800,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,349,600	8,349,600	東京証券取引所 JASDAQ (グロース)	単元株式数 100株
計	8,349,600	8,349,600	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	8,349,600	-	255,357	-	74,755

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
藤本 彰	静岡県菊川市	1,929,000	23.10
藤本 信	東京都豊島区	1,116,000	13.36
藤本 幸之助	東京都中央区	739,800	8.86
小貝 恭生	愛知県江南市	281,400	3.37
戸塚 大介	東京都江東区	178,400	2.13
藤本商事株式会社	静岡県菊川市青葉台三丁目3-5	164,800	1.97
ジェイテック従業員持株会	東京都中央区京橋一丁目10-7	119,500	1.43
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2-10	112,100	1.34
小島 康行	東京都文京区	72,800	0.87
石川 勝己	静岡県浜松市	63,200	0.75
計	-	4,777,000	57.21

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,346,500	83,465	-
単元未満株式	普通株式 300	-	-
発行済株式総数	8,349,600	-	-
総株主の議決権	-	83,465	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
株式会社ジェイテック	東京都中央区京橋 一丁目10番7号 KPP八重洲ビル	2,800	-	2,800	0.03
計	-	2,800	-	2,800	0.03

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、京都監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	532,881	514,498
売掛金	364,467	383,084
繰延税金資産	33,935	36,271
その他	38,764	41,781
貸倒引当金	666	699
流動資産合計	969,382	974,935
固定資産		
有形固定資産	21,459	20,658
無形固定資産	6,448	5,620
投資その他の資産		
敷金及び保証金	73,071	67,020
その他	17,132	19,240
投資その他の資産合計	90,204	86,261
固定資産合計	118,112	112,540
資産合計	1,087,495	1,087,476
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	78,000	74,000
未払金	108,871	113,129
未払費用	90,053	59,079
未払法人税等	20,785	15,589
賞与引当金	111,465	116,941
その他	54,014	54,180
流動負債合計	463,190	432,920
固定負債		
退職給付引当金	115,314	126,973
その他	3,385	4,209
固定負債合計	118,699	131,183
負債合計	581,889	564,103
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	255,357	255,357
資本剰余金	248,495	240,148
利益剰余金	11,801	11,011
自己株式	659	659
株主資本合計	491,392	505,858
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,083	4,440
その他の包括利益累計額合計	3,083	4,440
新株予約権	460	460
少数株主持分	10,669	12,614
純資産合計	505,605	523,373
負債純資産合計	1,087,495	1,087,476

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	1,091,481	1,671,308
売上原価	778,483	1,284,908
売上総利益	312,997	386,400
販売費及び一般管理費	301,796	350,691
営業利益	11,201	35,708
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	105	200
助成金収入	1,375	500
消費税等調整額	383	-
その他	2	13
営業外収益合計	1,871	720
営業外費用		
支払利息	569	624
営業外費用合計	569	624
経常利益	12,503	35,803
税金等調整前四半期純利益	12,503	35,803
法人税、住民税及び事業税	5,112	13,398
法人税等調整額	732	2,352
法人税等合計	4,380	11,045
少数株主損益調整前四半期純利益	8,122	24,758
少数株主利益	-	1,944
四半期純利益	8,122	22,813



【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,122	24,758
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	103	1,356
その他の包括利益合計	103	1,356
四半期包括利益	8,018	26,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,018	24,170
少数株主に係る四半期包括利益	-	1,944

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	12,503	35,803
減価償却費	3,883	3,976
のれん償却額	-	558
受取利息及び受取配当金	109	206
支払利息	569	624
賞与引当金の増減額(は減少)	1,506	5,476
売上債権の増減額(は増加)	2,189	18,616
退職給付引当金の増減額(は減少)	6,081	11,658
未払金の増減額(は減少)	2,706	6,170
未払費用の増減額(は減少)	5,310	30,973
未払消費税等の増減額(は減少)	4,419	2,097
預り金の増減額(は減少)	1,666	2,172
その他	2,167	756
小計	16,916	15,303
利息及び配当金の受取額	109	206
利息の支払額	563	643
法人税等の支払額	7,541	16,148
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,920	1,282
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	-	2,168
無形固定資産の取得による支出	539	2,098
子会社株式の取得に係る支出	41,000	-
敷金及び保証金の差入による支出	237	318
敷金及び保証金の回収による収入	26,040	203
投資活動によるキャッシュ・フロー	15,735	4,382
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	20,000	4,000
配当金の支払額	4,080	8,236
リース債務の返済による支出	327	481
財務活動によるキャッシュ・フロー	24,407	12,718
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	31,222	18,383
現金及び現金同等物の期首残高	424,956	532,881
現金及び現金同等物の四半期末残高	393,733	514,498

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間において、該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
役員報酬	30,450千円	35,850千円
従業員給与手当	103,979	119,329
賞与引当金繰入額	11,238	14,077
退職給付費用	934	1,685
地代家賃	53,165	57,262
減価償却費	3,843	3,892

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金	393,733千円	514,498千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	-	-
現金及び現金同等物	393,733	514,498

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	4,173	100	平成24年3月31日	平成24年6月29日	資本剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	8,346	200	平成25年3月31日	平成25年6月28日	資本剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)2	四半期連結損益計算書 計上額 (注)1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,066,548	24,932	1,091,481	-	1,091,481
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,066,548	24,932	1,091,481	-	1,091,481
セグメント利益	159,029	3,485	162,514	151,312	11,201

(注)1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額(151,312千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)2	四半期連結損益計算書 計上額 (注)1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,616,888	54,420	1,671,308	-	1,671,308
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,616,888	54,420	1,671,308	-	1,671,308
セグメント利益	181,264	9,460	190,724	155,016	35,708

(注)1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額(155,016千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	0円97銭	2円73銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	8,122	22,813
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	8,122	22,813
普通株式の期中平均株式数(株)	8,346,800	8,346,800
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	0円96銭	2円63銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	88,987	323,200
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 当社は、平成25年4月1日をもって普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月14日

株式会社ジェイテック  
取締役会御中

### 京都監査法人

指定社員 公認会計士 若山 聡 満 印  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 齋藤 勝彦 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ジェイテックの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ジェイテック及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。